

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	3370102802		
法人名	株式会社 メッセージ		
事業所名	グループホーム アミーユ大福		
所在地	岡山県岡山市南区大福 672		
自己評価作成日	平成21年9月30日	評価結果市町村受理日	平成20年11月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター		
所在地	岡山市北区松尾 209-1		
訪問調査日	平成21年10月16日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

理念の1つである「普通の生活の回復を目指す」ことを考えながらオーダーメイドケアを提供している。  
入居者様が、いつも笑顔で生活して頂けるよう、その方法を職員全員で考え、実現する事に取り組んでいる。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

「普通の生活の回復を目指す」という基本理念に基づいて、管理者が職員とともに入居者様の尊厳を大切にされた寄り添う支援を心がけている。  
ホームでの行事や体力に自信のない方も参加できる「わくわくツアーズ」という外出活動等も計画されて、生きがい対策や家族との交流を楽しむ機会を提供している。  
ユニットの出入り口の暖簾の大きな鈴はさりげない工夫を感じました。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で理念を意識する為、スタッフルームへ理念を掲示し、目標にして業務に就くようにしています。	事業所理念「普通の生活の回復」に基づき毎月4回のカンファレンスや月1回の研修等で、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の敬老会やお祭りなどに参加し、交流を図っています。	町内会の一員としての交流や、また散歩等に出かけて顔見知りの関係を作っている。来春高校生になる方よりボランティアの申し出がある。	これからも地域の一員として地域の活動や役割を担って交流してもらいたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議・地域ケア会議などで、施設について理解して頂くようにしています。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者様より頂いた意見は早急に取り入れ、サービスの向上に活かしています。	会議では毎回テーマを決め、参加者へ現在取り組んでいる内容について報告し、意見等をいただき、又会議での意見や要望は速やかに実行に移すよう努めている。	今後とも運営推進会議での意見や要望をサービスの向上に活かしてください。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議への参加を頂いた際や、地域ケア会議へ出席した際など、近況の報告などを行い、協力関係を築くよう取り組んでいます。	運営推進会議や地域ケア会議(福田地区)時に近況報告等を行ない協力関係を築くような取り組みをしている。	これからも、市町村の担当者に入居者の要望や生活ぶり等を伝えて連携を深めてください。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、職員は研修へ参加し理解しています。ユニットの玄関は10時30分から16時の間は開錠しています。	定期的に研修等のテーマとして取り上げ、身体拘束は行なわない事をスタッフ全員で認識してケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について、職員は研修に参加し、理解・防止に努めています。	/	/

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人制度を利用されている方も居られ、必要に応じて話し合いの場を設けるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約の際には、入居者様・ご家族様へご説明させて頂き、不安や疑問点にはその都度お答えするようにしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議には、毎回入居者様・ご家族様へご参加の依頼を行い、会議ではご意見やご要望をお聞きするようにしています。	ご意見・ご要望カードで入居者やご家族の意見を聞く機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者や家族が意見や要望を事業所内だけでなく、外部者にも表す機会を設け、よいことだけでなく、言いそびれることにも耳を傾けて、運営に反映してください。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	なんでもコールの設置や年1回の面談など、職員の意見や提案を聞く機会を作っています。	何でもコールや年1回の面談などで、職員の意見を聞く機会やカンファレンスなどで意見交換を行い運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ制度を導入し、向上心を持って働けるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1回の管理者研修や、職員においてはキャリアに応じた回数研修を受けています。又外部の講習会などの案内も行なっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の会議や外部の研修で交流する機会があり、そこで得たものを職場に持ち帰りサービスの向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居後しばらくは、密にコミュニケーションを取るよう心掛け、ご要望や不安などをお聞きするように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご面会時にはお茶を出し、お話をお伺いするよう心掛けています。又、その際には施設でのご様子をお伝えするようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居面談時にはご本人様・ご家族様の状況やニーズを聞き取り、必要に思われる援助をケアプランにてご提示しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯たたみや食器洗いなど、出来る事を職員と一緒にさせていただくようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へ外出時の付き添いの依頼や行事への参加の声かけなどを行い、共に支えていく関係を築いていけるよう努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お茶会をした場所や馴染みのお店などへ、お連れするようにしています。	実家に帰られたり、知人や友人に会いに行かれたり、また来訪して頂いて、今までの関係を継続していただけるように家族の協力を得ながら一緒に支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ソファで入居者様同士お話をしていたいたり、集まって座っていただけるよう机の配置換えなど行なっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後でも、お電話で様子をお伺いさせていただきます。施設の行事のご案内を行い、参加もして頂いています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	週1回のカンファレンスでの個人個人についての話し合いや、ご家族様から本人様の以前の生活などをお伺いし、ご意向の把握に努めています。	一人ひとりの要望や意向をまず一番に考えるようにしている。困難な場合は日常の動作や表情を見落とさないようにして、思いを汲み取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の生活の中でのご本人さまの様子や、ご家族様より生活歴や暮らし方などをお聞きした情報を、ケアプランへ記載し職員全員で情報を共有するように努めています。又毎月2回、回想法を行い、記録するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で観察を行い、心身状態や現状をケアプランへ記載し、職員全員で情報を共有するように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	週1回のカンファレンスにて、ケアの見直しを行い、プランを更新しています。ご本人様・ご家族様の希望や要望もケアプランに反映するようにしています。	より良く暮らすために、本人・家族の要望等を週1回のカンファレンスで話し合い、それぞれの意見を活かしたケアプランを作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録への記載を行なっています。気づきや本人の様子などは、特記事項の欄へ記載しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々のご要望に応じ、サービスの内容や時間の変更などを行なっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の美容院へ定期的にいかれる方、郵便局には散歩時にご一緒していただくなど、地域に馴染みの場所が出来るよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時はかかりつけ医を伺っています。受診などは、ご家族にかかりつけ医にお連れして頂くこともあります。	受診時にはかかりつけ医へご家族の方に連れて行ってもらい、適切な医療が受けられるように支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気になる事や異常を感じたときは常に看護師に相談し、又適切な受診が出来るよう看護師より医師への連絡を行なっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、情報提供書を記載し、医療機関へお渡ししています。入院時には週1度はお見舞いに行くよう心掛け、状態の把握や退院に向けての方針を伺うようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期については、入居時にご意向を確認しています。また本人様・ご家族様・主治医との話し合いの場を段階により設けるように努めています。	入居時にご本人・ご家族と重度化した場合や終末期に向けての方針の共有し、主治医との話し合いの場を段階により設けてチームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応の研修を職員全員が受け、緊急時の対応や連絡方法などの一覧を掲示し、発生時に備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	半年に1回の避難訓練を行い、その際には入居者様にも参加して頂いています。個々に合った避難方法の把握や、水・食糧・ろうそくなどを準備しています。	年2回消防訓練を行なっている。地域の方の避難場所になっているが、訓練に地域の方の協力体制はまだ出来ていない。	災害対策の避難訓練等はできているようですので、運営推進会議等で、地域との協力体制をお願いされてはと思います。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉づかいは目標に挙げ、訪室時のノックなどは忘れないように気をつけています。	研修やカンファレンスなどで接遇やプライバシーについて学習し、それらを全職員が実践している。 岡山の方言であっても、丁寧に優しく接しておられました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の中で、表情やしぐさなどを観察しながら、援助するように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設の1日のスケジュールは大体決まっていますが、本人様が訴えられる事やご意見を尊重しながら援助しています。ご要望により遅く起床される方も居られます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族様に馴染みの美容室へお連れ頂いたり、好みの服装などをお伺いし準備を行なうなどの支援をしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付けをお手伝いして頂いています。	一人ひとりの好みを把握して、時には要望のあったおかずと一緒に作ったり、一緒に楽しく食事や片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量が少ない方には、夜間の捕食の提供や水分補給の援助などを行なっています。個別に食器なども工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアスポンジや360℃歯ブラシの使用など、個々にあった物品で口腔ケアの支援をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、個別にトイレ誘導を行い、失禁を減らすように支援しています。	個々の排泄パターンを把握し、出来るだけトイレでの排泄にむけ一人ひとりをさりげなく支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腹部マッサージの実施や牛乳・バナナなどをお出しするなどの取り組みを行なっています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日を決めて入浴される方や毎日声掛けをし要望に応じて入浴して頂いている方が居られます。	一応話し合いの上、入浴日は決めてあるが、その日の体調等もあり、個々の気持ちを大切にして支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣に合わせ、起床時間の変更や昼寝の援助などを行なっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の援助前には、日付・名前を声に出し、薬の内容をお伝えするようにしています。又新しく処方された際などには、副作用についてカンファレンスで伝えるなどしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯たたみをしていただいたり、個別に夜間のお茶やお菓子の提供などの時間を作っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	曜日を決めてご家族様とご自宅に帰られたり、月1度、個別アクティビティーの日を決め、昔行かれていた場所などにお連れするなど、皆様が外出できるよう支援しています。	一人ひとりの希望にそって家族と一緒に掛ける方やホームの車でのドライブ、近所への散歩等それぞれが出かけられるように支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様とご一緒に管理されている方も居られます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご要望があれば、お電話をする援助を行っています。毎年年賀状はご家族様・ご兄弟様へ送らせていただいています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾る・季節行事の装飾などを行っています。共用の空間の室温は一日2回測定し、適温となるよう配慮しています。	共用の空間には季節の花や季節の行事の飾りがあり、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 アニマルセラピーの愛犬たちが入居者の方々のアイドル的存在である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや畳を設置し、お好きな場所で過ごして頂けるよう支援しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ひ孫様やご家族様の写真を飾られたり、ご自宅から使い慣れた家具をお持ち頂いたりしています。	家族の写真や趣味で製作された人形・使い慣れたダンス・応接セット・机・絵画の道具等を持ち込んで、本人が居心地よく過ごせるように工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には氏名の掲示、トイレには「便所」と掲示など、分かりやすいように工夫しています。		